Ⅰ．授業シラバス

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 授業科目 | スポーツ教育基礎演習Ⅰ（３００時間、講義・実技） | 1. 担当者名 | 有田 博紀 |
| 1. 科目の種類 | スポーツ教育科目 | 1. 必須／選択 | 選択 |
| 1. 配当学年・学期 | １年（キャリア形成：１年）・通期 | | |
| 1. 授業の概要（学習内容）   および授業計画 | 本授業では、社会人野球を通じて  技能を向上とともに、チームプレイやフォーメーション、ルールや戦術に関する知識と  理解を深め、社会人として必要な、「挨拶」、「マナー」をグランドでの人活動を通じて  人間教育を行う。  同時に、「投げる・打つ・捕る・走る」などの運動の基本動作から構成され  バランスの取れた運動能力を養うことができる野球の技術構造を理解し、練習法や指導法  さらには審判法を身につける。  ○ガイダンス及びオリエンテーション　[第１回～第５回、１０時間（講義）]  　　「挨拶」、「マナー」  ○運動の基本動作の理解　[第６回～第３５回、６０時間（実技）]  ○野球の技術構造の理解　[第３６回～第７５回、８０時間（実技）]  ○練習法の理解と実践　[第７６回～第１１５回、８０時間（実技）]  ○野球の試合運営に関するサポート力など　[第１１６回～第１５０回、７０時間（実技）] | | |
| 1. 学習方法 | 1. 授業・個人での活動方法 2. 課題及びレポートの作り方 3. 授業担当者からのアドバイス　など | | |
| 1. 到達目標 | １）野球の知識・技能を習得する。（知識・理解）  ２）野球の試合を通じてチームプレイやフォーメーションを理解する。（判断・思考）  ３）野球の楽しさや奥深さを理解する。（関心・意欲）  ４）野球の練習や試合を通じてチーム競技の協調性を養う。（態度・倫理）  ５）練習法や指導法を身につけ、グループ学習におけるリーダーとしての資質を養う。（発信・表現） | | |
| 1. 成績評価の基準と方法 | * 平常点（出席率）（30％） * 期末レポート（20％） * 実技テスト（50％）   にて、総合的に評価する。 | | |
| 1. 履修条件 | ・野球に興味と関心があり、基本的な知識と経験を有すること。  ・社会人野球連盟に加入すること。 | | |
| 1. 教科書・副教材等 | 適宜、資料を配布する。 | | |
| 1. 参考文献・参考資料 |  | | |
| 1. 実務経験 |  | | |
| 1. その他の事項 | ・ | | |